

2019年7月3日

ジェットスター・ジャパン株式会社

成田に続き、関西からも下地島空港に定期運航便就航！ ジェットスター・ジャパン、大阪(関西)＝宮古(下地島)路線を開設

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、7月3日、関西国際空港と下地島空港(宮古)を結ぶ初の路線を開設しました。下地島空港へのジェットスター・ジャパンの定期運航便としては、今年3月30日に運航を開始した東京(成田)に続き2路線目です。

下地島行きの初便 GK377 便は関西国際空港を16時49分に出発し、下地島空港に19時08分に到着しました。また、関西行きの初便 GK378 便は下地島空港を19時53分に出発し、関西国際空港に22時09分に到着しました。



(関西国際空港 国内線 17 番搭乗ゲートにて撮影)

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の片岡優は次のように述べています。

「成田国際空港からの直行便に続き、当社の2路線目となる関西国際空港から下地島空港への新規路線の運航を本日開始しました。これも関係各所の皆様からの引き続きのご支援のおかげと心よりお礼申し上げます。3月30日に成田国際空港から下地島空港への運航を開始して以来大変ご好評をいただいております。5月半ばには当路線のご搭乗者数が累計1万人を達成しました。成田路線に続く関西路線の就航で関西圏と宮古諸島が低運賃で結ばれ、より多くのお客様に気軽にご利用いただけるようになります。」

下地島空港への就航で、ジェットスター・ジャパンの国内線は国内15都市・23路線へと拡大しました。関西国際空港を発着するジェットスター・ジャパンの国内線としては7路線目で、沖縄方面

の路線としては成田・関西・中部＝那覇路線、成田＝下地島路線に続く 5 路線目です。下地島路線の就航で沖縄方面への運航便数は 1 日最大 11 往復 22 便(注 1)へと増え、同方面への旅の選択肢がさらに広がります。

日本の LCC として国内線最大シェア(注 2)を擁するジェットスター・ジャパンは、「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンに、今後もより多くのお客様に低価格で安心・安全、そして楽しい空の旅を提供してまいります。

(注 1)2019 年夏期運航スケジュール期間中

(注 2) 国土交通省「航空輸送サービスに係る情報公開(平成 30 年度第 3 回)」(2019 年 4 月発表)を基にジェットスター・ジャパンが算出。本邦 LCC における国内線マーケットシェア:48%(RPK ベース:平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月)

■運航スケジュール(2019 年 7 月 3 日～2019 年 10 月 26 日)

●大阪(関西)→宮古(下地島)

便名	出発時刻	到着時刻	運航期間・曜日	
GK377	15:50	18:15	7/3-7/19、9/1-10/26	月水金日
			7/20-8/31※	毎日

※ GK377:木曜は関西 16:00 発→下地島 18:20 着での運航

●宮古(下地島)→大阪(関西)

便名	出発時刻	到着時刻	運航期間・曜日	
GK378	18:55	21:15	7/3-7/19、9/1-10/26	月水金日
			7/20-8/31	毎日

各路線の運航スケジュールについては、ジェットスターの[ホームページ](#)をご覧ください。

■片道運賃(税込)

6,990 円～43,990 円

上記運賃は、エコミークラス「Starter」片道運賃です。支払手数料が別途必要です。受託手荷物の料金は含まれていません。また、諸条件が適用されます。運賃は予告なく変更となる可能性もありますのでご了承ください。

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012 年 7 月より日本国内線、2015 年 2 月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内 15 都市・23 路線、国際 4 都市・7 路線を 25 機のエアバス A320 型機(180 席)で 1 日約 100 便を運航しており、就航から 3,000 万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>